

# 5カ国語で「避難を」

## 沼田で外国人100人が訓練

多言語で災害情報を提供するシステムを活用  
光物産国際協会主催

が1日、沼田市下之町のグリーンベル21で行われ、利根沼田地域で



新聞紙のスリッパを履き卵の殻の上を歩く参加者

暮らす外国人約100人が参加した。地元ラジオ局が災害訓練ラジ

オを試験的に放送し、参加者は避難所の場所や災害時の対応を確認した。

参加したのは中国、タイ、ペルー、ブラジル、スリランカ、フィリピンの6カ国の外国籍住人。同所にあるFM OZEが特別番組「多言語で放送する災害訓練ラジオ」を放送し、日頃の備えや避難

所の情報について、中国語など5カ国語で伝えた。参加者は避難所として想定した会場で、非常食を試食。風呂敷でリュックサックを作ったり、新聞紙で作ったスリッパを履き、散乱したガラスに見立てた卵の殻の上を歩いたりした。家族で参加した日系ペルー4世の佐々木るあなさん(沼田升形小1年)は「非常食は初めて食べた。風呂敷の使い方は勉強になった」と話していた。